

◆教師用資料 「性感染症」・「性犯罪」について

<性感染症について>

性交渉をもつことで、性感染症にかかる危険性もある。

性感染症とは、性交渉が原因でウイルスやカビなどに感染し、発症する病気のことです。クラミジア・淋病・コンジローマ・ヘルペス・トリコモナス・ガジンダなど、たくさんの種類があります。性感染症自体は治らない病気ではないが、一度かかると慢性化したり、将来妊娠できない体になってしまう可能性もあります。

また、性感染症にかかると体の免疫力が落ちるので、HIV（エイズ）などの重大なウイルスにも感染しやすくなってしまいます。

おもな性感染症の症状

クラミジア

症状があまり出ないので気づきにくい。そのままにしていると、男性の場合は尿道炎や副睾丸炎を起こし、女性の場合は不妊症になる可能性がある。

淋病

尿道から黄色のうみが出て、排尿のときに強い痛みを感じる。クラミジアと同様に、症状が出にくいこともあり、女性の場合は不妊症になる可能性がある。

コンジローマ

性器にできもののようなものが発生する。出てきたできものは、切除したり、焼いたりして取るので、ウイルスが根の所に深く残り、再発をくり返すようになる。

ヘルペス

性器に小さな水ぶくれができる。水ぶくれがつぶれると、広がっていく。それが2週間ほど続いて、なくなる。この性器ヘルペスは、再発することがかなり多い。

<性犯罪について>

特に男性で、性への衝動的な思いが強くなり、一方的に自分が好きな女性やたまたま見かけた女性の体を触ったり、性的な乱暴をする事件が多発している（強制わいせつ・ストーカー・凶悪性犯罪など）。

また、特に女性で、お金と引き換えに、性的衝動を満たしたい男性と性交渉をもつことがある（援助交際・売春など）。言うまでもなく、恋愛や性交渉は双方の合意があつて初めて成り立つものであり、一方的な衝動やお金と引き換えに、安易な性行動を取るべきではない。